

第2回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

書面会議資料

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の

地域課題と取組の例（案）

資料 No.1 鶴岡地域

資料 No.2 藤島地域

資料 No.3 羽黒地域

資料 No.4 櫛引地域

資料 No.5 朝日地域

資料 No.6 温海地域

参 考 資 料

意見交換会の実施状況

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の地域課題と取組の例(案)

(1) 計画の柱 I 心の通い合う持続可能な組織づくり

目指すコミュニティ像：笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案)	順番
<p>(単位) 課題① 地域内の環境の変化(地域課題)に気づくための場づくり ○笑顔で挨拶を交わす取組の実践 ○近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり ○新しく住民になった人も気軽に参加できる事業の開催</p> <p>(単位) 課題② 住民自治組織への理解促進と会員確保 ○住民自治組織の存在意義や役割等を共有する機会と場づくり ○あきらめず誘い続ける声かけの実践 ○単位自治組織、関係団体、市との連携・協力によるアパルト家主及び入居者等への単位自治組織加入活動の実践 ○市との連携による、転入者の住民票異動手続きの際の加入呼びかけとチラシの配布</p>	<p>「場づくり」は概ね実施できているため【削除】 ただし、次の取組例は(単位)課題⑤(柱IIⅢ)へ ○近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり</p> <p>「住民自治組織への理解促進」を直接的な表現へ</p> <p>○あきらめず誘い続ける声かけの実践 ○単位自治組織、関係団体、市との連携・協力によるアパルト家主及び入居者等への単位自治組織加入活動の実践 ⇒上の2つの取組み事例を1つにまとめる 地域課題から行政課題へ【削除】 ○市との連携による、転入者の住民票異動手続きの際の加入呼びかけとチラシの配布</p>	<p>(単位) 課題② 情報発信と会員確保 ○住民自治組織の存在意義や役割、活動等を広報紙の他、ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を併用して発信 ○転居者や未加入者、アパルト家主などへの加入勧誘</p>	<p>(単位) 課題②</p>
<p>(単位) 課題③ 将来を見据えた持続可能な組織づくり ○将来を見据えた会費のあり方の検討 ○既存事業内容の見直し ○役員の負担軽減に向けた役割分担等の検討 ○単位自治組織の再編・統合等をテーマにした意見交換会の開催</p>	<p>次の取組例は(単位)課題④(柱I)から組込む ○女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大 ○退職者が地域活動を始めるためのきっかけづくり ⇒上の2つの取組み事例を1つにまとめる</p>	<p>(単位) 課題④ 将来を見据えた持続可能な組織づくり ○事業内容の見直し、事業の棚卸し ○役員の負担軽減に向けた組織体制・役員構成の見直しや運営マニュアルの作成 新○後継者の育成を意識した組織運営 ○女性の力やこれまでの経験を活かし、活躍の場を拡大 新○現役世代が参加しやすい環境づくり 新○(役員を輪番制としている場合)新しい課題や事業にも対応できる組織内の連携 ○会費のあり方の検討 新○SNSの活用など新しい生活様式の導入 ○単位自治組織の連携・統合等の検討</p>	<p>(単位) 課題①</p>

<p>(単位) 課題④ 活動の新たな担い手となる人材育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若い世代等が企画・担当する事業や若い世代等を意識した事業の開催 ○多世代参加・交流型事業の開催 ○人材育成研修事業への参加 ○女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大 ○事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを感じる仕掛けづくり ○退職者が地域活動を始めるためのきっかけづくり 	<p>次の取組例は (単位) 課題③ (柱Ⅰ) へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大 ○退職者が地域活動を始めるためのきっかけづくり <p>次の取組例は (広域) 課題④ (柱ⅢⅣ) にも追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを感じる仕掛けづくり 	<p>(単位) 課題④ 活動の担い手となる人材の育成と確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもから高齢者まで参加できる交流型事業の実施 ○子どもも会や中高生、大学生、若い世代等が企画運営する事業の実施 <p>新○単発的なスタッフ参加から、企画運営など継続的な参加につながるような、一過性に終わらない関わり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成研修事業への参加 ○得意分野を活かした役割分担により、自分が必要とされている喜びや達成感を感じる仕掛けづくり 	<p>(単位) 課題③</p>
<p>(広域) 課題① 地域課題解決型運営の強化と単位自治組織の機能分担 (再掲・柱ⅡⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域課題解決の取組に向け、幅広い年齢層や様々な立場の住民が参加するワークショップ等を通じ、広く住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○単位自治組織が行う諸事業へのサポート ○自主防災活動等の単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担に係る会議の開催 	<p>課題①を分割し、適切な柱へ組込む【柱Ⅰからは削除】</p> <p>(広域) 課題① 地域課題解決型運営の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒この課題は柱ⅡⅢへ ○地域課題解決の取組に向け、幅広い年齢層や様々な立場の住民が参加するワークショップ等を通じ、広く住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 <p>(広域) 課題①、単位自治組織の機能分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒この課題は柱Ⅱへ ○単位自治組織が行う諸事業へのサポート ○自主防災活動等の単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担に係る会議の開催 	<p>(広域) 課題② 時代にも調和する運営や事業展開と持続可能な組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業内容の見直し、事業の棚卸し ○各種団体の事務局や機能を広域コミュニティ組織に集約する等、地区の現状に応じた組織の再構築 ○広域コミュニティ組織職員や地域活動の担い手が研修会へ参加し、住民活動をつなぎ・支えるコーディネート力を向上 <p>新○地域を引っ張るリーダーや中核的グループなど多様な人材の集結</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報紙の他、ホームページやSNSを併用した情報発信・情報収集の強化 <p>新○SNSの活用など新しい生活様式の導入</p>	<p>(広域) 課題①</p>
<p>(広域) 課題② 将来を見据えた持続可能な組織づくり、魅力的な事業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種団体の事務局や機能を広域コミュニティ組織に集約する、あるいは取り込んだ機能を見直す等、地区の現状に応じた組織の再構築 ○住民の声を反映した活動の優先順位付けや事業内容の見直し ○広域コミュニティ組織職員を対象とした各種研修会の開催 	<p>「魅力的な事業づくり」をもう少し具体的に (時代背景やコロナ禍を踏まえる)</p> <p>(広域) 課題③、(柱Ⅲ) から (広域) 課題②へ組込む</p> <p>(広域) 課題③、地域のコミュニティ活動の輪を広げるためのコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ広報紙の内容の充実による情報発信力の強化 ○住民活動の場を広げるコーディネート ○地域で活躍できる人材育成のための研修の機会の充実 (広域) 課題② ○広域コミュニティ組織職員を対象とした各種研修会の開催 <p>⇒上の3つの取組み事例が類似しているため、1つにまとめ</p>	<p>(広域) 課題② 時代にも調和する運営や事業展開と持続可能な組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業内容の見直し、事業の棚卸し ○各種団体の事務局や機能を広域コミュニティ組織に集約する等、地区の現状に応じた組織の再構築 ○広域コミュニティ組織職員や地域活動の担い手が研修会へ参加し、住民活動をつなぎ・支えるコーディネート力を向上 <p>新○地域を引っ張るリーダーや中核的グループなど多様な人材の集結</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報紙の他、ホームページやSNSを併用した情報発信・情報収集の強化 <p>新○SNSの活用など新しい生活様式の導入</p>	<p>(広域) 課題①</p>

(2) 計画の柱Ⅱ 住民の安心・安全な暮らしの確保

目指すコミュニティ像：より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案)	順番案
<p>(単位) 課題⑤ 地域課題の把握と共有 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の現状と課題を共有するワーキングの開催 ○課題解決に取り組むための新しい事業の検討と既存事業内容の見直し 	<p>(単位) 課題⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の現状と課題を共有するワーキングの開催 (単位) 課題①(柱ⅠⅢ) から(単位) 課題⑤へ組込む ○近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり <p>⇒上の2つの取組み事例が類似しているため、1つにまとめ</p>	<p>(単位) 課題⑤ 地域課題の解決に向けた取組みの実施 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題の把握と共有のため、気軽に話し合える雰囲気や場づくり ○課題解決に取り組むための新しい事業等の検討 新○関係組織との連携や広域自治組織との役割分担など 課題解決に取り組むための仕組みづくり 新○有償ボランティアの検討 	<p>(単位) 課題④</p>
<p>(単位) 課題⑥ 緊急時や災害時に備えた会員情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民情報の収集の必要性和活用方法を説明する機会と場づくり ○単位自治組織や広域コミュニティ組織、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、市等による住民情報収集活動に係る意見交換会や研修会の開催 ○市の避難行動要支援者個別支援計画等作成支援事業を活用した名簿の作成 ○個人情報取得や取り扱いにかかわる研修会等への参加 	<p>「会員情報の把握」から前進した内容へ</p> <p>住民情報の取り扱い扱いは各組織で十分に理解し、注意を払って収集・管理を行っているため、次の項目を【削除】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民情報の収集の必要性和活用方法を説明する機会と場づくり ○単位自治組織や広域コミュニティ組織、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、市等による住民情報収集活動に係る意見交換会や研修会の開催 ○個人情報取得や取り扱い扱いかかわる研修会等への参加 <p>次の項目は、制度上適当な取組み事例に変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市の避難行動要支援者個別支援計画等作成支援事業を活用した名簿の作成 	<p>(単位) 課題⑥ 災害に備えたコミュニティづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 新○会員情報の把握と顔の見える隣組の関係性の構築 新○災害時に声掛けや安否確認、避難誘導を行うことができる体制づくり ○市の災害時避難行動要支援者支援制度に基づき、名簿提供に同意した要支援者と一緒に個別の避難計画を作成 	<p>(単位) 課題⑤</p>

<p>(広域) 課題① 地域課題解決型運営の強化と単位自治組織の機能分担 (再掲・柱 I Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課題解決の取組に向け、幅広い年齢層や様々な立場の住民が参加するワークショップ等を通じ、広く住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○ 単位自治組織が行う諸事業へのサポート ○ 自主防災活動等の単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担に係る会議の開催 	<p>課題①を分割し、適切な柱へ組込む (広域) 課題① 地域課題解決型運営の強化 ⇒ 柱 II Ⅱ へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課題解決の取組に向け、幅広い年齢層や様々な立場の住民が参加するワークショップ等を通じ、広く住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ⇒ 「地域ビジョン」策定の経過を 2 つの取組の例に分ける (広域) 課題①、単位自治組織の機能分担 ⇒ 柱 II へ ○ 単位自治組織が行う諸事業へのサポート ○ 自主防災活動等の単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担に係る会議の開催 	<p>(広域) 課題④ 「地域ビジョン」策定など地域課題解決に向けた運営の強化 (再掲・柱 II)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の現状と課題を共有するグループワークの実施 ○ 課題解決に取り組むための新しい事業の検討 <p>(広域) 課題④—単位自治組織の機能補完</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担等の検討 ○ 単位自治組織が行う諸事業へのサポート <p>新 (広域) 課題 コミュニティ防災のまちづくり</p> <p>新○被災情報の収集・伝達と避難所運営等を担う自主防災体制の確立</p> <p>新○安全・安心、防災等共通課題をきっかけとした広域コミュニティ組織の連携</p>	<p>(広域) 課題②</p> <p>(広域) 課題④</p> <p>(広域) 課題③</p>
(広域) 防災で新規追加⇒			

(3) 計画の柱Ⅲ 住民主体による地域課題解決力の向上

目指すコミュニティ像：地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		第2期計画の地域課題と取組の例(案)		順番案
<p>(単位) 課題① 地域内の環境の変化(地域課題)に気づくための場づくり ○笑顔で挨拶を交わす取組の実践 ○近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり ○新しく住民になった人も気軽に参加できる事業の開催</p> <p>(単位) 課題⑤ 地域課題の把握と共有 (再掲・柱Ⅱ) ○地域の現状と課題を共有するワーキングの開催 ○課題解決に取り組むための新しい事業の検討と既存事業内容の見直し</p>	<p>「場づくり」は概ね実施できているため【削除】</p> <p>ただし、次の取組例は課題⑤へ組込む ○近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり (単位) 課題⑤ ○地域の現状と課題を共有するワーキングの開催 ⇒上の2つの取組み事例が類似しているため、1つにまとめる</p>	<p>(単位) 課題⑤ 地域課題の解決に向けた取組みの実施 (再掲・柱Ⅱ) ○課題の把握と共有のため、気軽に話し合える雰囲気や場づくり ○課題解決に取り組むための新しい事業等の検討 新○関係組織との連携や広域自治組織との役割分担など 課題解決に取り組むための仕組みづくり 新○有償ボランティアの検討</p>	<p>(単位) 課題④ (単位) 課題④</p>	
<p>(広域) 課題① 地域課題解決型運営の強化と単位自治組織の機能分担 (再掲・柱ⅠⅡ) ○地域課題解決の取組に向け、幅広い年齢層や様々な立場の住民が参加するワークショップ等を通じ、広く住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○単位自治組織が行う諸事業へのサポート ○自主防災活動等の単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担に係る会議の開催</p>	<p>課題①を分割し、適切な柱へ組込む (広域) 課題① 地域課題解決型運営の強化 ⇒柱ⅠⅡへ ○地域課題解決の取組に向け、幅広い年齢層や様々な立場の住民が参加するワークショップ等を通じ、広く住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ⇒「地域ビジョン」策定の経過を2つの取組の例に分ける (広域) 課題①、単位自治組織の機能分担 ⇒柱Ⅱへ ○単位自治組織が行う諸事業へのサポート ○自主防災活動等の単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担に係る会議の開催</p>	<p>(広域) 課題④ 「地域ビジョン」策定など地域課題解決に向けた運営の強化 (再掲・柱Ⅱ) ○地域の現状と課題を共有するグループワークの実施 ○課題解決に取り組むための新しい事業の検討</p>	<p>(広域) 課題② (広域) 課題②</p>	

<p>(広域) 課題③ 地域の課題解決やコミュニティ活動の輪を広げるためのコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の困りごと相談とその課題解決に向けたコーディネート ○各種団体組織による組織連携に向けた情報交換会の開催 ○住民活動の場を広げるコーディネート ○コミュニティ広報紙の内容の充実による情報発信力の強化 ○地域で活躍できる人材育成のための研修の機会の充実 	<p>課題③を分割し、適切な柱・課題へ組込む (広域) 課題③ 地域の課題解決のためのコーディネート⇒柱Ⅲへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の困りごと相談とその課題解決に向けたコーディネート ○各種団体組織による組織連携に向けた情報交換会の開催 <p>(広域) 課題③' 地域のコミュニティ活動の輪を広げるためのコーディネート ⇒ (広域) 課題② (柱Ⅰ) へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民活動の場を広げるコーディネート ○コミュニティ広報紙の内容の充実による情報発信力の強化 ○地域で活躍できる人材育成のための研修の機会の充実 	<p>(広域) 課題③ 地域の課題解決のための仕掛けづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の困りごと等の解決に向けたコーディネートセッションカ <p>の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に取り組むための仕組みづくり (関係組織との連携や組織体制の見直しなど) <p>新○課題解決に向けた事業実施 新○有償ボランティアの取組に向けた検討</p>	<p>(広域) 課題⑥</p>
<p>(広域) 課題④ 地域課題解決の手法として地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 <p>(再掲・柱Ⅳ)</p>	<p>(単位) 課題③ (柱Ⅰ) から追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを感じる仕掛けづくり 	<p>(広域) 課題④ 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 <p>(再掲・柱Ⅳ)</p> <p>新○事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを感じる仕掛けづくり</p>	<p>(広域) 課題⑥</p>

(4) 計画の柱Ⅳ 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

目指すコミュニティ像：地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	第2期計画の地域課題と取組の例(案)	順番案
<p>(単位) 課題⑦ 地域の魅力となる伝統芸能等への理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの頃から伝統芸能や伝統行事への理解を促すような機会づくり ○開催日や運営形態等を工夫し若い人材の確保や参加しやすい環境づくり 	<p>「伝統芸能等」にこだわらない表現へ 作業経過等</p>	<p>(単位) 課題⑦ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの頃から地域の自然や歴史、文化、伝統、産業等への理解を促すような機会づくり ○開催日や運営形態等を工夫し、若い人材の確保や大勢が参加しやすい仕掛けづくり 新○子どもから高齢者まで世代を超えたつながりの創出
<p>(広域) 課題④ 地域課題解決の手法として地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 	<p>(単位) 課題③ (柱Ⅰ) から追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを感じる仕掛けづくり 	<p>(広域) 課題④ 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 新○事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを感じる仕掛けづくり
<p>(広域) 課題⑤ 地域の魅力を再発見し地域の子どもの郷土愛を育む環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後子ども教室等を活用した、子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○出来る限り地域事情に配慮した学校運営の実践 	<p>(単位) 課題⑦と同じ言い回しへ</p>	<p>(広域) 課題⑤ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 新○学校と地域が連携し、地域の自然や歴史、文化、伝統、産業等への理解を促すような機会づくり ○放課後子ども教室等を活用した、子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○地域学校協働活動やコミュニティスクールの検討 新○小学校が統廃合した地域における交流機会の創出

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の地域課題と取組の例

資料No.2 藤島地域

(1) 計画の柱 I 心が通い合う持続可能な住民自治組織づくり

目指すコミュニティ像：笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ
作業経過等

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案)
<p>(単位) 課題① 各世代の住民ニーズに合った活動に再構築(再掲・柱ⅢⅣ)</p> <p>○子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践</p> <p>○各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり</p> <p>○単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催</p> <p>○アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握</p>	<p>○子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践【削除】</p> <p>※この記載は唐突、少なくとも単位自治組織の「住民ニーズ」ではない。広域の新規課題⑤「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくりに入れる</p> <p>○単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催 【削除】</p> <p>○アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【削除】</p> <p>※ワーキング、講演会、アンケート・・・などと大上段に構えるのではなく、あくまでも組織内住民の交流を広めることに主眼を置く。(アンケート)</p> <p>・「お互い仲良く助け合う」精神を大事に各事業に取り組んでいる。課題は若い世代、子どもたちと一緒に参加できる内容に見直すこと。</p>	<p>(単位) 課題① 各世代が参加しやすい活動に再構築(再掲・柱Ⅲ)</p> <p>○日常的に近隣同士が気軽に会話できる雰囲気や場づくり</p> <p>○各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり</p> <p>○子ども会や中高生などの若い世代、あるいは高齢者団体等が、それぞれの年代だけでなく幅広い年代を対象とする事業を企画・運営し、交流を広げる。</p>
<p>(単位) 課題② 財政運営と会費のあり方の検討</p> <p>○会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し</p> <p>○各種団体・組織の統合・再編の検討</p>	<p>※組織の存続問題と捉え、課題を広く</p> <p>○各種団体・組織の統合・再編の検討 【広域課題へ】(アンケート)</p> <p>・歳出予算の15%が負担金・寄付金。それぞれの必要性は認識しているが、負担金等の額について妥当なのか検証してもらいたい。</p> <p>・町内会費負担の軽減を図るよう、事業内容の見直しを常々気にかけて、洗い直せる場を設けている。事業内容見直しの委員会を設けている。</p>	<p>(単位) 課題② 将来を見据えた持続可能な組織づくり</p> <p>○既存事業の見直し</p> <p>○隣組や班などの統合再編など組織の見直しや、役員構成の見直し</p> <p>○現役世代が参加できる役員体制と共通認識づくり</p> <p>○将来を見据えた会費のあり方の検討</p>

<p>(単位)課題③ 広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○従来行われてきた事業内容の再点検・見直し ○広域コミュニティ組織等と連携しての生涯学習事業の実施 ○多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動 <p>(単位)課題④ 広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり (再掲・柱ⅡⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織の機能点検 ○有事を想定した防災訓練の実施 ○緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取り扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明 ○地域住民の防犯意識の啓発活動 ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 	<p>【Ⅲも該当させる】(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会単独で生涯学習事業を実施するには無理がある。広域コミュニティのリーダーシップに期待。 ・広域コミュニティ組織への理解がなされていない。 ・各事業への参加者の固定化。これからの町内会を担う若い世代との交流会などを企画してみたい。 <p>削除【柱ⅡⅢのみ】</p>	<p>(単位)課題③ 広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既存事業の見直し ○広域コミュニティ組織等と連携しての生涯学習事業の実施 ○多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動
<p>(単位)課題⑤ 高齢者を近隣の輪で支える体制を再構築 (再掲・柱ⅡⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討 ○単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催 	<p>現計画の内容では単位自治組織に頼りすぎ。「何でもボランティア」では続かない。</p>	<p>(単位)課題⑤ 地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築 (再掲・柱ⅡⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者単独世帯への声掛けなど、普段からのコミュニケーション構築 ○高齢者の方々の知見と経験をいかす地域福祉活動 ○有償ボランティアの検討など、持続可能な地域福祉の構築 ○単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催

<p>(広域) 課題① 地区自治振興会の発足で新たな活動 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の維持と活動内容のPR ○各種団体・組織の統合・再編の検討 ○地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施 ○住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討 ○地区担当職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援 <p>(広域) 課題② 財政基盤の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会費のあり方の検討 ○住民合意に基づき活動の優先順位付けや内容の見直し ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 	<p>課題①文言変更</p> <p>(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般住民にとっては、従前の「公民館」の域を脱しておらず、地域の課題解決型組織にはなっていない。 ・今後は若い世代の企画力に期待したい。人材育成が必要。 ・活性化策を検討している組織もある。 <p>(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費徴収には住民が大きな抵抗感を持っている。 ・事業を参加費で賄い採算をとっている。施設の営利目的使用不可、損失担保、地域との利害など課題が大きすぎる。 	<p>(広域) 課題① 地区自治振興会を核とした活動の推進 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の維持と活動内容のPR ○各種団体・組織の統合・再編の検討 ○地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施 ○住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討 ○アドバイザー職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援 <p>(広域) 課題② 持続可能な運営方法の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会費のあり方の検討 ○住民合意に基づき活動の優先順位付けや内容の見直し ○地域資源を活かしたコミュニティビジネスの導入
---	---	--

(2) 計画の柱Ⅱ 住民の安心・安全な暮らしの確保

目指すコミュニティ像：より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案)
<p>(単位) 課題④ 広域コミュニティ組織と一体となった安心・安心な体制づくり (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織の機能点検 ○ 有事を想定した防災訓練の実施 ○ 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取り扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明 ○ 地域住民の防犯意識の啓発活動 ○ 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 	<p>(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各年代で安心安全のあり方が変化しているが、各年代での課題や対応、社会の変化についていけない。 ・ 自主防災組織はあるが十分な機能を果たすまでに至っていない。 ・ 自主防災組織の横のつながりや連携ができていない。地区レベルでの構築が必要。 	<p>(単位) 課題④ 広域コミュニティ組織と一体となった安心・安心な体制づくり (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災計画の見直しなど自主防災組織の機能点検の実施 ○ 定期的な防災訓練の実施 ○ 緊急時や災害時に備えた住民情報の収集とその適正管理 ○ 地域における防犯意識を高めるための啓発活動の実施 ○ 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 	
<p>(単位) 課題⑤ 高齢者を近隣の輪で支える体制を再構築 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討 ○ 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催 	<p>(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まだ、必要ないと考えている人が多い。近々、支援が必要になることは明確であり、広域と連携して対応していかなければならない。 	<p>(単位) 課題⑤ 地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者単世帯への声掛けなど、普段からのコミュニケーション構築 ○ 高齢者の方々の知見と経験をいかす地域福祉活動 ○ 有償ボランティアの検討など、持続可能な地域福祉の構築 ○ 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催 	
<p>(広域) 課題④ 福祉と防災で新たな役割を確立 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による役割分担会議の開催 ○ 単位自治組織と情報を共有する体制づくり ○ 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 ○ 関係団体等との協働による防災訓練の実施 ○ 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討 ○ 高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、コミュニティビジネスの取組に向けた検討 	<p>(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域コミュニティ組織が果たすべき福祉の役割を明確にすること自体困難極まる。 ・ 高齢者の生活ニーズが多様すぎてボランティアの芽も育たない。 ・ 単位自主防災会が組織されているが、地区全体での連携は構築されていないので、体制づくりを進めたい。 	<p>(広域) 課題④ 福祉と防災で新たな役割を確立 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による機能・役割分担の確立 ○ 単位自治組織と情報を共有する体制づくり ○ 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 ○ 関係団体等との協働による防災訓練の実施 ○ 高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、コミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○ 中学生・高校生の防災意識の高揚(応急処置講習会、防災訓練への参加) ○ 災害に即応し、自助共助が発揮できるまちづくりの推進 	

(3) 計画の柱Ⅲ 住民主体による地域課題解決力の向上

目指すコミュニティ像：地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ

<p>現行計画の地域課題と取組の例</p>	<p>第2期計画の地域課題と取組の例(案)</p>
<p>(単位) 課題① 各世代の住民ニーズに合った活動に再構築 (再掲・柱ⅠⅣ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり ○単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催 ○アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握 	<p>(単位) 課題① 各世代が参加しやすい活動に再構築 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的に近隣同士が気軽に会話できる雰囲気や場づくり ○各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり ○子ども会、中高生などの若い世代や高齢者団体等が、それぞれの年代だけでなく幅広い年代を対象とする事業を企画・運営し、交流を広げる。
<p>(単位) 課題④ 広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり (再掲・柱ⅠⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織の機能点検 ○有事を想定した防災訓練の実施 ○緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取り扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明 ○地域住民の防犯意識の啓発活動 ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 	<p>(単位) 課題④ 広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり (再掲・柱ⅠⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災計画の見直しなど自主防災組織の機能点検の実施 ○定期的な防災訓練の実施 ○緊急時や災害時に備えた住民情報の収集とその適正管理 ○地域における防犯意識を高めるための啓発活動の実施 ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践
<p>(単位) 課題⑤ 高齢者を近隣の輪で支える体制を再構築 (再掲・柱ⅠⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討 ○単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催 	<p>(単位) 課題⑤ 地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築 (再掲・柱ⅠⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者単独世帯への声掛けなど、普段からのコミュニケーション構築 ○高齢者の方々の知見と経験をいかす地域福祉活動 ○有償ボランティアの検討など、持続可能な地域福祉の構築 ○単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催

<p>(広域) 課題① 地区自治振興会の発足で新たな活動 (再掲・柱 I)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の維持と活動内容のPR ○各種団体・組織の統合・再編の検討 ○地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施 ○住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、協議会等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討 ○地区担当職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援 ○アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握 ○ワークショップによる人材の掘り起こしと住民ニーズの把握 	<p>(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者除雪について関係4団体と協議を行ったが、事務局をどこに帰属するかでとん挫した。仕事量の増加となると連携が可能かどうか疑問。 ・町内会長と自治振興会の役割分担に疑問を持つ。地区でなく藤島地域全体の連絡調整会議を設け、地域課題や情報共有化すべき。 <p>○広域コミュニティ組織連絡協議会の設立と組織間の情報共有・連携 ※設立済み 削除</p>	<p>(広域) 課題① 地区自治振興会を核とした活動の推進 (再掲・柱 I)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の維持と活動内容のPR ○各種団体・組織の統合・再編の検討 ○地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施 ○住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討 ○アドバイザー職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援
<p>(広域) 課題③ 地区内外の団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、協議会等の団体)による意見交換会の開催、連携に向けた検討 ○人材育成のための研修機会の充実(単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研究会、コミセン職員研修会等) ○町内会長連絡協議会等地域全域で構成される組織とコミュニティ組織との連絡調整会議の開催 ○広域コミュニティ組織連絡協議会の設立と組織間の情報共有・連携 	<p>(広域) 課題③ 地区内外の団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による意見交換会の開催、連携に向けた検討 ○人材育成のための研修機会の充実(単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研究会、コミセン職員研修会等) ○町内会長連絡協議会等地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連絡調整会議の開催 	<p>(広域) 課題③ 地区内外の団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による意見交換会の開催、連携に向けた検討 ○人材育成のための研修機会の充実(単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研究会、コミセン職員研修会等) ○町内会長連絡協議会等地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連絡調整会議の開催
<p>(広域) 課題④ 福祉と防災で新たな役割を確立(再掲・柱 II)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による機能・役割分担会議の開催 ○単位自治組織と情報を共有する体制づくり ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 ○関係団体等との協働による防災訓練の実施 ○高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができていない人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討 ○高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、コミュニティビジネスの取組に向けた検討 	<p>(広域) 課題④ 福祉と防災で新たな役割を確立(再掲・柱 II)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による機能・役割分担会議の開催 ○単位自治組織と情報を共有する体制づくり ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 ○関係団体等との協働による防災訓練の実施 ○高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、コミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○中学生・高校生の防災意識の高揚(応急処置講習会、防災訓練への参加) ○災害に即応し、自助共助が発揮できるまちづくりの推進 	<p>(広域) 課題④ 福祉と防災で新たな役割を確立(再掲・柱 II)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による機能・役割分担会議の開催 ○単位自治組織と情報を共有する体制づくり ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 ○関係団体等との協働による防災訓練の実施 ○高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、コミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○中学生・高校生の防災意識の高揚(応急処置講習会、防災訓練への参加) ○災害に即応し、自助共助が発揮できるまちづくりの推進

(4) 計画の柱Ⅳ 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

目指すコミュニティ像：地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	第2期計画の地域課題と取組の例(案)
(単位) 課題① 各世代の住民ニーズに合った活動に再構築 (再掲・柱Ⅰ) ○子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり ○単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するト ーキングや講演会等の開催 ○アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民 情報や住民ニーズの収集・把握	見直し【削除】+新規に課題追加 作業経過等
新規に課題追加	(単位) 課題⑥ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土 愛を育む環境づくり ○子ども達から地域活動に関わることができる ように、開催日や運営形態等を工夫する。 (広域) 課題⑤ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土 愛を育む環境づくり ○子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○この地域でなければ経験できない伝統芸能、食生活、ス ポーツなどに、子ども達から触れ合う事業を実施 ○地域学校協働本部・コミュニティスクールの設置

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の地域課題と取組の例（案）

資料No.3 羽黒地域

(1) 計画の柱Ⅰ 心の通い合う持続可能な組織づくり

目指すコミュニティ像：笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例（案）
<p>(単位) 課題① 集落規模の縮小と活動減少への対応 ○広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築</p> <p>○住民自治組織の運営や事業内容の見直し</p>	<p>○体制の構築を内容の見直しへ変更 小規模集落は、従来のような事業展開が難しくなってきたことから、同事業が広域にあれば見直し、負担軽減をはかりたいとの意見多数</p> <p>○運営を会費のあり方、事業内容を共同作業へ変更 高齢者等会費減免世帯増により運営経費が乏しく、自主財源確保の課題がある。また会員減少・高齢化の進展により、特に環境整備等の共同作業の見直しも必要に迫られている</p>	<p>(単位) 課題① 将来を見据えた持続可能な組織づくり ○広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し</p> <p>○将来を見据えた会費のあり方の検討と、共同作業の見直し</p>
<p>○近隣の単位自治組織との連携や統合の検討</p>	<p>○連携や統合の検討を交流と協力体制の構築に変更 小規模集落は、自立した活動が困難な状況だが、近隣の組織と統合するにはハードルが高いため、段階的に歩み寄り、互いを理解しあうところから始める</p>	<p>○近隣する単位自治組織との交流と協力体制の構築</p>
<p>(単位) 課題② 役員等の負担軽減と担い手の育成</p> <p>○役員等の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し</p> <p>○役員を育成する仕組みづくり</p>	<p>⇒柱Ⅲに再掲/自治組織の最重要地域課題により</p> <p>○新規 現行、役員は輪番制だが、女性や若者の登用により、違う視点での意見、具体的な考えや新しい発想が生まれ、その層の人材をも取り込むことができる</p> <p>変更なし</p>	<p>(単位) 課題② 多様な人材の活用と役員等の負担軽減（再掲・柱Ⅲ） 新○女性や若者を登用し、幅広い年齢層が参加しやすい集落運営の仕組みづくり</p> <p>○役員等の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し</p> <p>○単位自治組織が抱える課題・将来像を共有する場づくり</p>

<p>(単位) 課題③ 子どもや若者の事業参加や活動の担い手を確保する環境の整備 (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者のリーダー育成講座や研修会の開催 ○若者が主体的に行う事業への支援 ○活動内容や開催日の検討等伝統文化や行事が継承できるような環境づくり ○小中学校や高等教育機関、企業等への協力要請 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規世代間交流の場を増やし、地元の魅力再発見につなげるとともに顔の見える関係の構築 ○講座や研修会の開催から仕掛けづくりへ変更し、2つを1つにまとめる ○学びよりも事業へ巻き込んで協働で行う方が、満足度も得られ、自主度が増す。併せて同年代層の人材を呼び込む機会にもなる ○新規小中学校により小学校が統合された上、スポーツ少年団等の活動により親子事業の参加率も低くなり、隣近所でも顔を合わす機会が減少している。 ○また、挨拶する子が少ない。 ○2つを1つにまとめる ○地域の魅力を知ること、地域の人が先生になつとつながることが大事である。地元の人材が先生になって、地域の歴史や文化を共同作業や体験を通じて教える 	<p>(単位) 課題③ 多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり (再掲・柱Ⅳ)</p> <p>新○地域の特性を活かした多世代参加・交流型事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者が事業を通じて企画・運営の達成感や充実感を感じられる仕掛けづくり <p>新○笑顔であいさつを交わし気軽に話し合える雰囲気や場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもが地域の大人とつながり、体験を通して地域の魅力を伝えることによるふるさと大好きな子どもの育成
<p>(広域) 課題① 広域コミュニティ組織への理解と協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の意義と活動内容のPR ○広域コミュニティ活動についての研修会の開催や情報交換 ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○各種助成金等活用方法の検討 ○会費制の導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○意義の理解は達成されたため削除 ○地域内から地域外へPR範囲を拡大する ○開催を削除 ○地域資源を活かした<u>を</u>追加 ○削除 ○特段取組に載せなくともよい ○社会情勢の変化、単位組織の補完的役割の増加等を考慮すると財源確保の検討も引き続き必要と思われため文言を変え継続 	<p>(広域) 課題① 身近な地域の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ活動の地域内外への発信 ○広域コミュニティ活動についての研修会や情報交換 ○地域資源を活かしたコミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○適正な受益者負担の検討

<p>(広域)課題② 単位自治組織等との連携と役割分担及び人材の育成 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の単位自治組織への支援体制の構築 ○地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○地域課題解決のための情報交換や話し合いの実施 ○人材の発掘や育成のための講座や研修会の開催 ○広域コミュニティ組織連絡協議会の設立と組織間の情報共有・連携 ○地域コミュニティに関わる団体・組織との交流や話し合いの実施 	<p>○体制の構築を削除</p> <p>○2項目が類似のため1つにまとめる</p> <p>○リーダー育成の前段階としてサブリーダーの人材育成が重要</p> <p>○削除 達成による</p> <p>○話し合いの実施を削除</p> <p>○新規 人材発掘するには、参加しやすい事業・環境づくりが重要</p> <p>○削除 (広域コミュニティ組織で取り組むものではない)</p> <p>○コミュニティ活動を協働活動へ変更</p> <p>○社会を追加</p> <p>○親について盛り込む</p> <p>○削除</p> <p>○呼び込む目的を追加</p>	<p>(広域)課題② 単位自治組織と連携した事業体制と新たな人材育成 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織による単位自治組織への支援 ○地域の現状と目指すまちの姿を共有し、地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○新たなリーダー輩出につながる、サブリーダーからの人材育成と達成感を感じる仕掛けづくり ○地域コミュニティに関わる団体・組織との交流 <p>新○地域活動に参加する契機となる場の創出</p>
<p>(広域)課題③ 若者に魅力ある地域、子育てしやすい地域づくり (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○雇用の場の創出・農業環境の改善や就農者への支援 ○小学校と連携したコミュニティ活動の推進 ○子ども達の郷土愛を育む教育活動の実践 ○育児サークルや見守り隊等地域で子育てをする環境づくり ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○地域外から人材を呼び込むための検討 		<p>(広域)課題③ 郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校等と連携した協働活動の推進 ○子ども達の郷土愛を育む社会教育活動の実践 ○若者に魅力ある子育てしやすい環境づくり <p>○地域外から人材を呼び込み、地域力の維持・強化と地域の魅力を再発見と発信</p>

(2) 計画の柱Ⅱ 住民の安心・安全な暮らしの確保

目指すコミュニティ像：より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案)
<p>(単位) 課題④ 福祉・防犯・防災等安全で安心な地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織の機能点検と研修の開催 ○広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築 ○要支援者見守り体制の検討 ○他団体と連携した高齢者等交流・支援活動の実施 	<p>作業経過等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2つを1つにまとめる ○共助の体制のしかけ ○継続 ○新規 近年増加している空き家対策の取組みを追加 	<p>[単位] 課題④ お互いを見守り支え合う安全で安心な地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織の機能点検及び広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築 ○有事に備えた住民情報の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり ○他団体と連携した高齢者等交流・支援活動の実施 ○空き家情報の把握と市への情報提供
<p>(広域) 課題④ 防災拠点としての自主防災活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報伝達、情報収集方法の検討 ○避難訓練や防災研修等の実施 ○単位自治組織の自主防災会への働きかけや支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○検討を構築に変更 ○地域の実情にを追加 ○継続 	<p>(広域) 課題④ 自主防災組織と連携した防災の体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報伝達、情報収集方法の構築 ○地域の実情に即した避難訓練や防災研修等の実施 ○単位自治組織の自主防災会への働きかけや支援
<p>(広域) 課題⑤ 福祉・防犯体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や要支援者の見守り支援体制の構築 ○防犯体制の見直しと強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○他組織との連携を追加 ○近年増加している空き家対策の取組みを追加 	<p>(広域) 課題⑤ 安心して暮らし続けられるコミュニティづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や要支援者の見守り支援体制の構築 ○各種団体や組織と連携した防犯体制の取り組み <p>新○空き家の予防啓発</p>

(3) 計画の柱Ⅲ 住民主体による地域課題解決力の向上

目指すコミュニティ像：地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		第2期計画の地域課題と取組の例(案)
<p>(単位) 課題② 役員等の負担軽減と担い手の育成</p> <p>○役員等の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し</p> <p>○役員を育成する仕組みづくり</p>	<p>作業経過等</p> <p>○新規 現行、役員は輪番制だが、女性や若者の登用により、違う視点での意見、具体的な考えや新しい発想が生まれ、その層の人材をも取り込むことができる</p> <p>変更なし</p> <p>○大きく変更 自治会活動への希薄化が進み、事業の参加率が低くなっているため、次世代と共に考え話し合う場を多くもち、自治組織の必要性を再確認する場をつくる</p>	<p>(単位) 課題② 多様な人材の活用と役員等の負担軽減(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>新○女性や若者を登用し、幅広い年齢層が参加しやすい集落運営の仕組みづくり</p> <p>○役員等の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し</p> <p>○単位自治組織が抱える課題・将来像を共有する場づくり</p>
<p>(広域) 課題② 単位自治組織等との連携と役割分担及び人材の育成(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>○広域コミュニティ組織の単位自治組織への支援体制の構築</p> <p>○地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定</p> <p>○地域課題解決のための情報交換や話し合いの実施</p> <p>○人材の発掘や育成のための講座や研修会の開催</p> <p>○広域コミュニティ組織連絡協議会の設立と組織間の情報共有・連携</p> <p>○地域コミュニティに関わる団体・組織との交流や話し合いの実施</p>	<p>○リーダー育成の前段階としてサブリーダーの人材育成が重要</p> <p>○削除 達成による</p> <p>○話し合いの実施を削除</p> <p>○新規 人材発掘するには、参加しやすい事業・環境づくりが重要</p>	<p>(広域) 課題② 単位自治組織と連携した事業体制と新たな人材育成(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>○広域コミュニティ組織による単位自治組織への支援</p> <p>○地域の現状と目指すまちの姿を共有し、地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定</p> <p>○新たなリーダー輩出につながる、サブリーダーからの人材育成と達成感を感じる仕掛けづくり</p> <p>○地域コミュニティに関わる団体・組織との交流</p> <p>新○地域活動に参加する契機となる場の創出</p>

(4) 計画の柱Ⅳ 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

目指すコミュニティ像：地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		第2期計画の地域課題と取組の例(案)	
目指すコミュニティ像	地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ	作業経過等	(単位)課題③ 多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり(再掲・柱Ⅰ) 新〇地域の特性を活かした多世代参加・交流型事業の開催
<p>(単位)課題③ 子どもや若者の事業参加や活動の担い手を確保する環境の整備(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>〇若者のリーダー育成講座や研修会の開催 〇若者が主体的に行う事業への支援</p> <p>〇活動内容や開催日の検討等伝統文化や行事が継承できるような環境づくり 〇小中学校や高等教育機関、企業等への協力要請</p>	<p>〇新規 世代間交流の場を増やし、地元の魅力再発見につなげるとともに顔の見える関係の構築</p> <p>〇講座や研修会の開催から仕掛けづくりへ変更し、2つを1つにまとめる 学びよりも事業へ巻き込んで協働で行う方が、満足度も得られ、自主度が増す。併せて同年代層の人材を呼び込む機会にもなる</p> <p>〇新規 少子化により小中学校が統合された上、スポーツ少年団等の活動により親子事業の参加率も低くなり、隣近所でも顔を合わす機会が減少している。また、挨拶する子が少ない。</p> <p>〇2つを1つにまとめる 地域の魅力を知るためには、地域を知ること、地域の人とつながることが大事である。地元の大人が先生になって、地域の歴史や文化を共同作業や体験を通じて教える</p>	<p>〇新規等と連携した協働活動の推進 〇子ども達の郷土愛を育む社会教育活動の実践 〇若者に魅力ある子育てしやすい環境づくり</p> <p>〇地域外から人材を呼び込み、地域力の維持・強化と地域の魅力の再発見・発信</p>	
<p>(広域)課題③ 若者に魅力ある地域、子育てしやすい地域づくり(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>〇雇用の場の創出・農業環境の改善や就農者への支援 〇小中学校と連携したコミュニティ活動の推進 〇子ども達の郷土愛を育む教育活動の実践 〇育児サークルや見守り隊等地域で子育てをする環境づくり 〇コミュニティビジネスの取組に向けた検討 〇地域外から人材を呼び込むための検討</p>	<p>〇削除(広域コミュニティ組織で取り組むものではない) 〇コミュニティ活動を協働活動へ変更 〇社会を追加 〇親について盛り込む 〇削除 〇呼び込む目的を追加</p>	<p>(広域)課題③ 郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>〇小学校等と連携した協働活動の推進 〇子ども達の郷土愛を育む社会教育活動の実践 〇若者に魅力ある子育てしやすい環境づくり</p>	

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の地域課題と取組の例（案）

(1) 計画の柱 I 心の通い合う持続可能な組織づくり

目指すコミュニティ像：笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例（案）
<p>(単位) 課題① 広域コミュニティ組織の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <p>○広域コミュニティ組織のあり方の検討</p> <p>○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施</p> <p>○単位自治組織の意見集約と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会の実施</p>	<p>櫛引地域広域コミュニティ組織検討会の検討結果方向性が示された（H29.2）後の情報共有がなされてこなかった。方向性は示されたが、定期的に状況を確認する必要があることから継続</p> <p>【削除】 検討会で方向性が示されたことから削除</p> <p>【変更】 単位自治組織の役員が交代しても継続して議論に参加できるように共有を図りながらメリットやデメリットを含め研修していく</p> <p>【変更】 検討会で、広域コミュニティ組織化は、単位自治組織活動へ与える影響が大きく設置時期までは見合わせた</p>	<p>(単位) 課題① 広域コミュニティ組織の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <p>新○近隣する単位自治組織との情報交換や交流と協働体制の検討</p> <p>○<u>広域コミュニティ組織の活動を共有する機会と場づくり</u></p> <p>○単位自治組織の将来像の共有と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会の実施</p>
<p>(単位) 課題② 住民自治組織等の理解促進と事業の見直し</p> <p>○住民自治組織等の存在意義や役割等を共有する住民懇談会等の開催</p> <p>○一体感を醸成するための世代間交流事業の実践</p> <p>○住民自治組織スタッフアップ事業補助金等、地域コミュニティの課題解決のための事業の活用</p> <p>○住民理解を促す総会資料の工夫や広報の検討</p> <p>○事業活動の見直しとともに適正な自治会費の検証</p> <p>○若者や女性の参画に向けた住民ニーズの把握</p>	<p>【変更】 柔らかく</p> <p>【変更】 柔らかく</p> <p>【変更】 補助事業の変更</p> <p>【変更】 主に理解を促す内容を明記</p>	<p>(単位) 課題② 住民自治組織等の理解促進と事業の見直し</p> <p>○住民自治組織等の存在意義や役割等を共有する場づくり</p> <p>○一体感を醸成するための子どもから高齢者まで参加できる事業の実践</p> <p>○市民まちづくり活動促進事業補助金等、地域コミュニティの課題解決のための事業の活用</p> <p>○組織や活動等理解してもらえよう総会資料の工夫や広報の検討</p> <p>○事業活動の見直しとともに適正な自治会費の検証</p> <p>○若者や女性の参画に向けた住民ニーズの把握</p>

<p>(単位) 課題③ 婚活支援と後継者対策 (再掲・柱Ⅳ)</p> <p>○結婚を後押しする雰囲気づくりと子育てしやすい環境づくり</p> <p>○つるおか婚シェアリングの周知と連携</p> <p>○単位自治組織等が企画立案して取り組む婚活イベントの実践</p> <p>○民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援</p> <p>○若者の参画のもと、農業生産組織との連携による農産物販売や環境美化活動等の実施</p>	<p>婚活支援は、広域的に展開する必要があることから変更 取り組むには限界があること</p> <p>【削除】参加者の固定化など、広域的に展開する必要性があり単位自治組織で取り組むには限界がある</p>	<p>(単位) 課題③ 次代を担う人材育成と後継者対策 (再掲・柱Ⅳ)</p> <p>○結婚を後押しする雰囲気づくりと子育てしやすい環境づくり</p> <p>○つるおか婚シェアリングの周知と連携</p> <p>新○得意分野を活かした役割分担により、自分が必要とされている喜びや達成感を感じる仕掛けづくり</p> <p>○民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援</p> <p>○若者の参画のもと、農業生産組織との連携による農産物販売や環境美化活動等の実施</p>
---	--	--

(2) 計画の柱Ⅱ 住民の安心・安全な暮らしの確保

目指すコミュニティ像：より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ
 現行計画の地域課題と取組の例
 作業経過等

<p>(単位) 課題④ 安全・安心な地域の構築</p> <p>○防災意識の高揚を図るための定期的な防災訓練や防災座談会の開催</p> <p>○自主防災組織の機能の点検と体制整備</p> <p>○消防団活動協力員の加入促進</p> <p>○見守り隊の機能の点検と体制整備</p> <p>○支援が必要な人と支援ができる人の情報収集とボランティア体制の確立</p>	<p>【変更】H28から平日中の消防力強化のため創設されたことを受け追加</p> <p>【変更】柔らかに</p>	<p>第2期計画の地域課題と取組の例(案)</p> <p>(単位) 課題④ 安全・安心な地域の構築</p> <p>○防災意識の高揚を図るための定期的な防災訓練や防災座談会の開催</p> <p>○自主防災組織の機能の点検と体制整備</p> <p>○消防団活動協力員の加入促進と機能別消防団員の確保</p> <p>新○毎月1日に交通安全・防犯の小旗を掲揚し、地域ぐらみで交通事故防止・犯罪防止に努める</p> <p>○見守り隊の機能の点検と体制整備</p> <p>○支援が必要な人と支援ができる人の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり</p> <p>新○緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性の確立 認及び、取り扱い方法、活用方法の確立</p>
---	--	---

(3) 計画の柱Ⅲ 住民主体による地域課題解決力の向上

目指すコミュニティ像：地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		第2期計画の地域課題と取組の例(案)	
(単位) 課題① 広域コミュニティ組織の検討 (再掲・柱Ⅰ)	権引地域広域コミュニティ組織検討会の検討結果方向性が示された(H29.2)後の情報共有がなされてこなかった。方向性は示されたが、定期的に状況を確認する必要があることから継続	(単位) 課題① 広域コミュニティ組織の検討 (再掲・柱Ⅰ)	新○近隣する単位自治組織との情報交換や交流と協働体制の検討
○広域コミュニティ組織のあり方の検討	【削除】検討会で方向性が示されたことから削除		
○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施	【変更】単位自治組織の役員が交代しながらメリットやデメリットを参加できるよう共有を図りながらメリットやデメリットを含め研修していく		○広域コミュニティ組織の活動を共有する機会と場づくり
○単位自治組織の意見集約と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会の実施	【変更】検討会で、広域コミュニティ組織化は、単位自治組織活動へ与える影響が大きく設置時期までは見合わせた		○単位自治組織の将来像の共有と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会の実施

(4) 計画の柱Ⅳ 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

目指すコミュニティ像：地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		第2期計画の地域課題と取組の例(案)	
(単位) 課題③ 婚活支援と後継者対策 (再掲・柱Ⅰ)	婚活支援は、広域的に展開する必要があることから変更	(単位) 課題③ 次代を担う人材育成と後継者対策 (再掲・柱Ⅰ)	○結婚を後押しする雰囲気づくりと子育てしやすい環境づくり
○結婚を後押しする雰囲気づくりと子育てしやすい環境づくり			○つるおか婚シエルの周知と連携
○つるおか婚シエルの周知と連携	【削除】参加者の固定化など、広域的に展開する必要性があり単位自治組織で取り組むには限界がある		新○得意分野を活かした役割分担により、自分が必要とされている喜びや達成感を感じる仕掛けづくり
○単位自治組織等が企画立案して取り組む婚活イベントの実践			○民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援
○民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援			○若者の参画のもと、農業生産組織との連携による農産物販売や環境美化活動等の実施
○若者の参画のもと、農業生産組織との連携による農産物販売や環境美化活動等の実施			

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の地域課題と取組の例（案）

資料No.5 朝日地域

(1) 計画の柱 I 心の通い合う持続可能な組織づくり

目指すコミュニティ像：笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ
作業経過等

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例（案）	順番変更
<p>(単位) 課題① 単位自治組織の組織強化と活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性の登用や研修等によるリーダーの育成 ○広域コミュニティ組織と連携・協力による役員職務の負担軽減 ○各世代の住民が一堂に参加できる活動により、単位自治組織を身近に感じてもらえるような取組の実践 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「組織強化」「活性化」は、人口減少が止まらない現在では、ますます難しくなっている。「維持」していくにも、単位自治組織1自治会では難しかったため、近隣との協力・連携が必要 ・「各世代が一堂に参加」は、単位では難しくなっているため【削除】 	<p>(単位) 課題① 将来を見据えた持続可能な組織づくり</p> <p>新○受け入れ側の意識改革を行いながら、女性や若者が発言・活躍できる場を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織と連携・協力しながら、自治会組織役員の負担軽減を実現する。 <p>新○単位自治会を超えた複数自治会での活動を模索する。</p>	
<p>(単位) 課題② 住民による持続可能な魅力的な事業づくり（再掲・柱IV）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な行事の復活等により、子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○変更可能なしきたりについて持続可能な形態への改善と、若い世代がしきたりを考え理解するための場づくり ○生涯学習推進活動において、広域コミュニティ組織と連携した事業 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝統的な行事の復活」は難しいと思う。【削除】 ・ランドゴルフのような子供から高齢者まで幅広い年代の人が楽しめる事業を行う方がよい。【削除】 ・「変更可能なしきたり」だけでなく、幅広い年代で色々なことを話し合える場づくりが必要【削除】 ・「生涯学習推進活動」は、規模の大きな事業については単自治会では困難であり、既にコミセン事業となっている。【継続】 <p>⇒広域の課題③の取組へ言葉を修正して活かす。</p>	<p>(単位) 課題② 住民による魅力的な事業づくり（再掲・柱IV）</p> <p>新○幅広い年代が参加しやすい事業の開催</p> <p>新○単位自治会を超えた複数自治会での参加しやすい事業を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習活動において、広域コミュニティ組織・地区公民館連絡協議会と連携した事業、単位自治会でできる事業のすみ分けを考えていく。 	
<p>(単位) 課題④ 単位自治組織の財産管理や環境整備事業の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○財産管理に伴う維持費や改築に係る費用等について朝日地域に不動産を残したまま転出した転出した転出者等への協力要請 ○他組織との共同により作業分担の検討 ○長期的な財産修繕計画の策定 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯数と人口の減少により、今までどおりの共同作業は難しくなっている。 ・アンケート結果より ・現在は、積み立てがあるが、このまま世帯数が減少していくと財政的にも厳しい状況になる。 	<p>(単位) 課題④ 単位自治組織の財産管理や環境整備事業の見直し</p> <p>新○将来を見据えた会費のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○隣接する自治会との共同作業の検討 新○土地や建物の財産管理の共同作業の見直し 	

<p>(単位) 課題⑤ 希薄化した連帯感の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若い世代が参加しやすい事業の仕組みづくり ○一体感を醸成するための世代間交流事業の実践 ○子供会育成会との共催事業の開催 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連帯感の再構築は単位・広域とも必要である。 ・働く世代の勤務形態の多様化で、一堂に会することが難しくなっている。 ・単位が広域に事業をまかせきりにしてしまうと、単位が消滅してしまう。すみ分けが大事だと思う。 ・単位を広域が支援する仕組みを作っていくことが必要。 ・1期の取組3つについては、現在の単位自治組織では難しいため【削除】 	<p>(単位) 課題⑤ 希薄化した連帯感の再構築</p> <p>新○単位自治組織と広域コミュニティの連携した活動の実施</p> <p>新○単位自治組織を広域コミュニティ組織が支援する仕組みづくり</p> <p>新○単位自治組織でできることではできるだけ単位自治組織でするという自覚を持つ場づくり</p>
<p>(広域) 課題① 住民理解促進と単位自治組織へのサポート体制機能の構築 (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容のPR ○単位自治組織で実施が困難となっている生涯学習活動等の事業への協力 ○各種団体の事務局を担うことによる単位自治組織が担う役割の軽減 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部、大網は地区公民館連絡協議会=コミセンということで、コミセンへの認識ができてきている。中央は、5つの地区公民館連絡協議会がようやく連携してきているところである。 ・保育園や小学校の段階から、コミセン事業に参加してコミセンを身近なものとして育つようにする。 ・課題と取組は、まだまだと思われため【継続】 	<p>(広域) 課題① 住民理解の促進と単位自治組織への支援 (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容を共有する機会と場づくり ○単位自治組織で実施が困難となっている活動・研修への協力と支援 <p>新○子ども頃から地域固有の自然や歴史、文化、伝統、産業などへの理解を促すような機会づくり</p>
<p>(広域) 課題② 組織ごとの運営方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運営方法の確立に向けた検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の開催 	<p>アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「運営方法の確立」について、実施し効果があったとしているため【削除】 ・コミセンの役割は多くなっていくと思うが、集約する事業とそうでない事業のすみ分けが必要になってくると思う。 ・研修会の開催を、課題①に盛り込み、課題②は削除 	<p>(広域) 課題② 組織ごとの運営方法の確立</p>
<p>(広域) 課題③ 新たな人材の確保に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成のための研修機会の充実 ○女性や幅広い世代の人材を登用し、積極的に活動できる取組の実践 ○生涯学習推進員を中心とした事業の推進 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題にある「新たな」はなくてもいいのではないか。 ・生涯学習推進員を巻き込んだ事業の展開が必要。 ・地元の人材の把握が不足している。 ・女性や幅広い世代の人材を登用し、積極的に活動できるようにすることはまだまだできていない。【継続】 ・単位自治会と広域コミュニティ組織の連携が不足。 ・保育園や小学校の段階から、コミセン事業に参加してコミセンを身近なものとして育つようにする。 ・人と人との接点を持つ集まりをもっと実施し、その中でリーダーを育成していく。 	<p>(広域) 課題② 人材の確保に向けた検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人と人との繋がりができるような事業や研修会の実施 新○地元講師の発掘と、講師を活かした事業の実施 新○若い世代の声を地域に活かすため、性別や年代を超えた語り合える場を作る。 新○生涯学習推進員を巻き込み、単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携を強める事業を実施する。

課題③
⇒②

<p>(広域) 課題④ 朝日地域全体の生涯学習の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <p>○朝日地域自治振興会連絡協議会(広域コミュニティ組織の連合組織)が主体となって事業を実施できるような仕組みづくり</p> <p>○朝日地域自治振興会連絡協議会への支援体制の構築</p> <p>○学校統廃合に伴いあいさひ小学校の地域行事に対する窓口体制の構築</p>	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統合により、愛着や教職員と接する機会も減少し、関心が低くなっている。 ・単位の課題⑤と合体し、課題を「希薄化した連帯感の再構築」にする。 <p>アンケート結果より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題と取組とも重要であると考えているため【継続】 	<p>(広域) 課題③ 希薄化した連帯感の再構築 (再掲・柱Ⅲ)</p> <p>○朝日地域自治振興会連絡協議会(広域コミュニティ組織の連合組織)が主体となって事業を実施できるような仕組みづくり</p> <p>新○子どもから高齢者まで世代を超えて集える場づくり</p> <p>新○地域が学校に関わる「コミュニティスクール」と「地域学校協働活動」への協力と支援</p>	<p>課題④ ⇒③</p>
--	---	--	-------------------

(2) 計画の柱Ⅱ 住民の安心・安全な暮らしの確保

目指すコミュニティ像：より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ

<p>現行計画の地域課題と取組の例</p>		<p>第2期計画の地域課題と取組の例(案)</p>	<p>順番変更</p>
<p>(単位) 課題③ 安全安心な地域づくりのための組織づくり</p> <p>○広域コミュニティ組織と連携した防災活動の取組</p> <p>○社会福祉協議会等、他の団体と協力による見守り活動や情報共有の実践</p> <p>○単位自治組織内の消防団OBの調査・把握と消防団活動協力員への参加促進</p>	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのコミセンとの連携の強化が必要。単位だけでは難しい。すみ分けが大事である。 ・災害時の物品の備え、意識の備えが必要。 ・見守り活動などは今の活動を継続しながら更に充実 ・消防団の活動は、だんだん難しくなっている。消防団に頼るのではなく、個々の防災意識を高くして、有事の時は、地域にいる人達で協力することが必要【削除】 	<p>(単位) 課題③ 安全安心な地域づくりのための組織づくり</p> <p>○防災拠点施設となる広域コミュニティ組織との連携の強化</p> <p>新○社会福祉協議会等、他団体との協力による見守り活動や情報共有の継続と充実</p> <p>新○地域の消防団や行政と連携し、有事の際には地域に住む人達で協力しあえる仕組みづくり</p> <p>新○空き家の所有者の把握と、適正管理の指導や助言</p>	<p>課題④ (新設)</p>
<p>(広域) 課題 新設</p>	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのコミセンとの連携の強化が必要。単位だけでは難しい。すみ分けが大事である。 ・災害時の物品の備え、意識の備えが必要。 ・見守り活動などは今の活動を継続しながら更に充実 ・消防団の活動は、だんだん難しくなっている。消防団に頼るのではなく、個々の防災意識を高くして、有事の時は、地域にいる人達で協力することが必要 	<p>(広域) 課題④ 安全安心な地域づくりのための組織づくり</p> <p>新○単位自治組織と情報を共有する仕組みづくり</p> <p>新○自主防災会と連携を強化し、災害の避難訓練や研修会の実施</p> <p>新○空き家の実態把握と適正管理の指導や助言</p> <p>新○社会福祉協議会等他団体との協力による高齢者や支援が必要な人に対する見守り活動等の支援</p>	<p>課題④ (新設)</p>

(3) 計画の柱Ⅲ 住民主体による地域課題解決力の向上

目指すコミュニティ像：地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案)	順番変更
<p>(広域) 課題③ 新たな人材の確保に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成のための研修機会の充実 ○女性や幅広い世代の人材を登用し、積極的に活動できる取組の実践 ○生涯学習推進員を中心とした事業の推進 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題にある「新たな」はなくてもいいのではないか。 ・生涯学習推進員を巻き込んだ事業の展開が必要。 ・地元の人材の把握が不足している。 ・女性や幅広い世代の人材を登用し、積極的に活動できるようにすることはまだまだできていない。【継続】 ・単位自治会と広域コミュニティ組織の連携が不足 ・保育園や小学校の段階から、コミセン事業に参加をして ・コミセンを身近なものとして育つようにする。 ・人と人との接点を持つ集まりをもっと実施し、その中でリーダーを育成していく。 	<p>(広域) 課題② 人材の確保に向けた検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人と人との繋がりができるような事業や研修会の実施 新○地元講師の発掘と、講師を活かした事業の実施 新○若い世代の声を地域に活かすため、性別や年代を超えた語り合える場を作る。 新○生涯学習推進員を巻き込み、単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携を強める事業を実施する。 	<p>課題③ ⇒②</p>
<p>(広域) 課題④朝日地域全体の生涯学習の検討 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝日地域自治振興会連絡協議会(広域コミュニティ組織の連合組織)が主体となって事業を実施できるような仕組みづくり ○朝日地域自治振興会連絡協議会への支援体制の構築 ○学校統廃合に伴いあさひ小学校の地域行事に対する窓口体制の構築 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統合により、愛着や教職員と接する機会も減少し、関心が低くなっている。 ・単位の課題⑤と合体し、課題を「希薄化した連帯感の再構築」にする。 ・アンケート結果より ・課題と取組とも重要であると考えているため【継続】 	<p>(広域) 課題③ 希薄化した連帯感の再構築 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝日地域自治振興会連絡協議会(広域コミュニティ組織の連合組織)が主体となって事業を実施できるような仕組みづくり 新○子どもから高齢者まで世代を超えて集える場づくり 新○地域が学校に関わる「コミュニティスクール」と「地域学校協働活動」への協力と支援 	<p>課題④ ⇒③</p>

(4) 計画の柱Ⅳ 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

目指すコミュニティ像：地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案)	順番変更
<p>(単位)課題② 住民による持続可能な魅力的な事業づくり(再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な行事の復活等により、子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○変更可能なしきたりについて持続可能な形態への改善と、若い世代がしきたりを考え理解するための場づくり ○生涯学習推進活動において、広域コミュニティ組織と連携した事業 	<p>見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝統的な行事の復活」は難しいと思う。【削除】 ・グランドゴルフのような子供から高齢者まで幅広い年代の人が楽しめる事業を行う方がよい。【削除】 ・「変更可能なしきたり」だけでなく、幅広い年代で色々なことを話し合える場づくりが必要【削除】 ・「生涯学習推進活動」は、規模の大きな事業については単自治会では困難であり、既にコミセン事業となっている。【継続】 <p>⇒広域の課題③の取組へ言葉を修正して活かす。</p>	<p>(単位)課題② 住民による魅力的な事業づくり(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>新○幅広い年代が参加しやすい事業の開催 新○単自治会を超えた複数自治会での参加しやすい事業を開催する。</p> <p>○生涯学習活動において、<u>広域コミュニティ組織・地区公民館連絡協議会と連携した事業、単自治会でできる事業のすみ分けを考えていく。</u></p>	
<p>(広域)課題① 住民理解促進と単自治組織へのサポート体制機能の構築(再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容のPR ○単自治組織で実施が困難となっている生涯学習活動等の事業への協力 ○各種団体の事務局を担うことによる単自治組織が担う役割の軽減 	<p>意見交換会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部、大網は地区公民館連絡協議会＝コミセンということで、コミセンへの認識ができてきている。中央は、5つの地区公民館連絡協議会がようやく連携してきているところである。 ・保育園や小学校の段階から、コミセン事業に参加をしてコミセンを身近なものとして育つようにする。 ・課題と取組は、まだまだだと思われるため【継続】 	<p>(広域)課題① 住民理解の促進と単自治組織への支援(再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容等を共有する機会と場づくり ○単自治組織で実施が困難となっている活動・研修への協力和支援 <p>新○子どもの頃から地域固有の自然や歴史、文化、伝統、産業などへの理解を促すような機会づくり</p>	

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の地域課題と取組の例（案）

資料No.6 温海地域

(1) 計画の柱 I 心の通い合う持続可能な組織づくり

目指すコミュニティ像：笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例（案）
<p>(単位) 課題① 多様な人材の活用と役員等の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役員の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し ○ 各種団体の統合や組織の見直しによる、単位自治組織 役員の負担軽減 ○ 若者や女性、高齢者の活躍の場の拡充 <p>(単位) 課題② 単位自治組織の健全な財政運営に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民合意に基づく会費収入に見合った事業運営の見直し 	<p>課題①・課題②を統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役員の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し ○ 若者や女性、高齢者の活躍の場の拡充 「若者や女性」は課題③へ、「高齢者」は課題⑥へ ○ コミュニティビジネスを含めた活動資金の確保策の検討 ○ 先進事例の研究や講習会等、単位自治組織運営に関する研修の実施 ○ 有線放送設備及び新たな情報伝達手段の仕組みの研究・検討 	<p>(単位) 課題① 健全な財政運営に向けた検討や組織の見直しによる役員等の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種団体の統合や組織の見直しによる、単位自治組織 役員の負担軽減 ○ 住民合意に基づく会費収入に見合った事業運営の見直し ○ 公民館類似施設運営・活動費補助金の有効活用 ○ 有線放送設備及びICTを活用した新たな情報伝達手段の研究・検討 ○ 新組織の規模に見合った、単位自治組織の運営
<p>(単位) 課題③ 将来を見据えた単位自治組織のあり方 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 隣接する単位自治組織との情報交換や単位自治組織運営に対する相互協力、共同化の検討 ○ 地区自治会の今後のあり方の検討 ○ 単位自治組織と地区自治会との連携や機能・役割分担の検討 ○ 地区担当職員制度を活用した集落活性化懇談会等の取組による具体的な方策の検討 	<p>(単位) 課題③ 将来を見据えた単位自治組織のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 隣接する単位自治組織との情報交換や単位自治組織運営に対する相互協力、共同化の検討 ○ 地区自治会の今後のあり方の検討 ○ 地区自治会の今後のあり方の検討 課題⑦へ 	<p>(単位) 課題③ 将来を見据えた単位自治組織の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 隣接する単位自治組織との情報交換や運営に対する相互協力、共同化の検討 ○ 単位自治組織と地区自治会との連携や機能・役割分担の検討 ○ アドバイザー職員制度を活用し住民一体となった地域ビジョンの策定による具体的な方策の検討 ○ 若者や女性等、多様な人材の活躍の場づくり ○ 若い世代が活躍できる役員体制

<p>(単位)課題⑤ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者に魅力のある地域づくりのための活動支援やリーダーの育成 ○伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ○学校統合後の小学校及び中学校と地域との連携及び地域活動の推進 ○地域理解を深めるための学習支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校統合後の小学校及び中学校と地域との連携及び地域活動の推進 	<p>(単位)課題⑤ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者に魅力のある地域づくりのための活動支援やリーダーの育成 ○世代間交流などによる伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ○小学校及び中学校と地域との連携及び地域活動の推進 ○地域理解を深めるための学習支援
<p>(単位)課題⑥ 高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり (再掲・柱Ⅱ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が持つ知識や経験を活かした地域づくりの推進 ○健康寿命の延伸(介護予防・健康づくり)を主眼にした事業の推進 ○日常生活での見守り・支え合い体制の仕組みづくりと強化 	<p>(単位)課題⑦ 広域コミュニティ組織のあり方の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織のあり方の検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施 	<p>(単位)課題⑥ 高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり (再掲・柱Ⅱ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が持つ知識や経験を活かした地域づくりの推進 ○健康寿命の延伸(介護予防・健康づくり)を主眼にした事業の推進 ○日常生活での見守り・支え合い体制の仕組みづくりと強化 <p>新○高齢者が活躍し、生きがいを持ち住み続けられる地域コミュニティづくり</p> <p>新○高齢者でも可能な健康づくり</p>
<p>(単位)課題⑦ 広域コミュニティのあり方の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織のあり方の検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施 	<p>(単位)課題⑦ 広域コミュニティ組織のあり方の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織のあり方の検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施 	<p>(単位)課題⑦ 広域コミュニティ組織の検討 (再掲・柱Ⅲ)</p> <p>新○地区自治会の今後のあり方の検討</p> <p>新○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容を共有する機会と場づくり</p>

(2) 計画の柱Ⅱ 住民の安心・安全な暮らしの確保

目指すコミュニティ像：より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例 (単位) 課題④ 防犯・防災への対応	作業経過等	第2期計画の地域課題と取組の例(案) (単位) 課題④ 安全で安心して暮らせる防犯・防災対策の推進
<p>○自主防災組織の機能点検を行うと共に、避難訓練や有事に備えた住民同士の話し合いの機会や講習会の開催</p> <p>○有事に備えた住民情報の把握と活用方法の検討</p> <p>○有事の際の情報伝達システム確立のため、全単位自治組織への防災無線の配備と単位自治組織防災マニュアルの整備</p> <p>○津波に対する避難路の整備や津波ハザードマップを活用した避難訓練の実施</p> <p>○空き家の実態把握、所有者に対する適正管理の指導</p> <p>○空き家等に関する転出時の単位自治組織での取り決めの検討</p>	<p>○「自主防災組織の～」を2つに分割</p> <p>○有事に備えた住民情報の把握と活用方法の検討</p> <p>○有事の際の情報伝達システム確立のため、全単位自治組織への防災無線の配備と単位自治組織防災マニュアルの整備</p>	<p>○住民が災害対策意識を強く持つように、定期的な避難訓練と有事に備えた話し合いの機会や講習会の開催</p> <p>○自主防災組織の機能点検</p> <p>○有事に備えた住民情報の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり</p> <p>○有事の際の情報伝達システム確立のため、各戸へのICT等を活用した通信設備の配備と地区防災計画の作成</p> <p>○津波に対する避難路の整備や津波ハザードマップを活用した避難訓練の実施</p> <p>○空き家の実態把握、所有者に対する適正管理の指導</p> <p>○空き家等に関する転出時の単位自治組織での取り決めの検討</p>
<p>(単位) 課題⑥ 高齢者等福祉の視점에立ったコミュニティづくり(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>○高齢者が持つ知識や経験を活かした地域づくりの推進</p> <p>○健康寿命の延伸(介護予防・健康づくり)を主眼にした事業の推進</p> <p>○日常生活での見守り・支え合い体制の仕組みづくりと強化</p>		<p>(単位) 課題⑥ 高齢者等福祉の視점에立ったコミュニティづくり(再掲・柱Ⅰ)</p> <p>○高齢者が持つ知識や経験を活かした地域づくりの推進</p> <p>○健康寿命の延伸(介護予防・健康づくり)を主眼にした事業の推進</p> <p>○日常生活での見守り・支え合い体制の仕組みづくりと強化</p> <p>新○高齢者が活躍し、生きがいを持ち住み続けられる地域コミュニティづくり</p> <p>新○高齢者でも可能な健康づくり</p>

(3) 計画の柱Ⅲ 住民主体による地域課題解決力の向上

目指すコミュニティ像：地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		第2期計画の地域課題と取組の例(案)	
<p>(単位) 課題③ 将来を見据えた単位自治組織のあり方の検討 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○隣接する単位自治組織との情報交換や単位自治組織運営に対する相互協力、共同化の検討 ○地区自治会の今後のあり方の検討 ○単位自治組織と地区自治会との連携や機能・役割分担の検討 ○地区担当職員制度を活用した集落活性化懇談会等の取組による具体的な方策の検討 	<p>(単位) 課題③ 将来を見据えた単位自治組織のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○隣接する単位自治組織との情報交換や単位自治組織運営に対する相互協力、共同化の検討 ○地区自治会の今後のあり方の検討 課題⑦へ 	<p>(単位) 課題③ 将来を見据えた単位自治組織の検討 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○隣接する単位自治組織との情報交換や運営に対する相互協力、共同化の検討 ○単位自治組織と地区自治会との連携や機能・役割分担の検討 ○アドバイザー²職員制度を活用し住民一体となった地域ビジョンの策定による具体的な方策の検討 新○若者や女性等、多様な人材の活躍の場づくり 新○若い世代が活躍できる役員体制 	
<p>(単位) 課題⑦ 広域コミュニティのあり方の検討 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織のあり方の検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施 	<p>単位) 課題⑦ 広域コミュニティ組織のあり方の検討 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域コミュニティ組織のあり方の検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施 	<p>(単位) 課題⑦ 広域コミュニティ組織の検討 (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新○地区自治会の今後のあり方の検討 新○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容を共有する機会と場づくり 	

(4) 計画の柱Ⅳ 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

目指すコミュニティ像：地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

現行計画の地域課題と取組の例		第2期計画の地域課題と取組の例(案)	
<p>(単位) 課題⑤ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり (再掲・柱Ⅰ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者に魅力のある地域づくりのための活動支援やリーダーの育成 ○伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ○学校統合後の小学校及び中学校と地域との連携及び地域活動の推進 ○地域理解を深めるための学習支援 	<p>(単位) 課題⑤ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者に魅力のある地域づくりのための活動支援やリーダーの育成 ○世代間交流などによる伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ○小学校及び中学校と地域との連携及び地域活動の推進 ○地域理解を深めるための学習支援 	<p>(単位) 課題⑤ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり (再掲・柱Ⅳ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者に魅力のある地域づくりのための活動支援やリーダーの育成 ○世代間交流などによる伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ○小学校及び中学校と地域との連携及び地域活動の推進 ○地域理解を深めるための学習支援 	

意見交換会等の実施状況

①期日 ②対象及び参加人数

鶴岡地域	<p>【意見交換会】</p> <p>①9月29日(火曜日) ②鶴岡市町内会連合会(三役)、7人</p> <p>①9月25日(金曜日) ②鶴岡市コミュニティ組織協議会(市街地広域組織会長・事務局長)、12人</p> <p>①9月29日(火曜日) ②鶴岡市自治振興会連絡協議会(郊外地広域組織会長・事務局長)、30人</p> <p>①10月2日(金曜日) ②単位自治組織女性会長、4人</p>
藤島地域	<p>【意見交換会】</p> <p>①11月11日(水曜日) ②町内会長会役員会(町内会長会役員)、10人</p> <p>①11月20日(金曜日) ②町内会長会(町内会長)、52人</p> <p>①10月13日(火曜日) ②地域振興懇談会、8人</p>
羽黒地域	<p>【意見交換会】</p> <p>①8月25日(火曜日) ②自治振興会連絡協議会(事務局長)、4人</p> <p>①11月17日(火曜日) ②自治振興会オンライン会議(事務局長)4人</p> <p>①8月31日(月曜日) ②鶴岡市青少年育成市民会議羽黒地区会議育成部会(育成部員)、12人</p> <p>①9月25日(金曜日) ②生涯学習推進員連絡会(生涯学習推進員)、19人</p> <p>①9月30日(水曜日) ②地域振興懇談会(委員)、15人</p>
櫛引地域	<p>【意見交換会】</p> <p>①7月22日(水) ②櫛引区長会情報交換研修会(区長)、20人</p> <p>①9月30日(水) ②櫛引地域振興懇談会(委員)、13人</p> <p>①12月4日(金) ②櫛引区長会全体会(区長)、21人</p>

朝日地域	<p>【アンケート調査報告に対する意見・提案のお願い】</p> <p>①10月19日(月曜日)提出期限</p> <p>②朝日地域自治会長38人、生涯学習推進員16人、自治振興会・連絡協議会3コミセン</p> <p>【意見交換会】</p> <p>①10月27日(火曜日)</p> <p>②地域振興懇談会(委員)、10人</p> <p>①11月10日(火曜日)</p> <p>②自治振興会・連絡協議会(コミセン役員、生涯学習推進員、職員)、27人</p>
温海地域	<p>【意見交換会】</p> <p>①10月7日(水曜日)</p> <p>②温海地域自治会長会役員会、8人</p>